

MCC（宮城県立がんセンター）看護部が望む看護師像

“質の高いがん看護を実践できる看護師”

ジェネラリスト



キャリアナース編入（入職時評価でレベル決定）

レベル V	目標：がん看護に対する広い視野を持ち役割に応じた活動ができる	
	がん治療と看護 看護に応用するための補完・代替療法 ターミナルケア論（終末期の症状マネジメント他） 地域連携と退院調整	チームビルディング マネジメント 部署内での 指導・助言
レベル IV	目標：多角的な視点での看護実践ができ、がん看護の役割モデルとなる	
	がん治療と看護（代替補完療法） （治療を受ける患者の総合アセスメントと看護介入） がん性疼痛応用編 他 （身体症状・精神症状マネジメント・スピリチュアル） 看護倫理事例検討会 院内実習（部署内実習）	看護の動向・政策について 新人・学生指導研修
レベル III	目標：リーダーシップ力を発揮し専門的知識を基に看護実践ができる	
	緩和ケア チーム医療（緩和ケアチーム等の連携・協働） 臨床試験について がんサバイバーを支える看護 症状マネジメント	リーダーシップ理論 NANDA 看護診断 （院内事例検討・グループワーク） コーチング 事例研究
レベル II	目標：プライマリナースとして看護が自立して実践ができる	
	がん治療と看護（応用） 危機理論と看護への応用 （意思決定支援） がん性疼痛治療（全人的理解）と看護	看護技術（各部署の専門的処置） ナーシングシステム（プライマリナース・リーダーシップ） 看護過程の展開（NANDA 看護診断） 倫理綱領を読み解く（フライの原則） メンタルヘルス ナラティブ研修
レベル I	目標：看護師としての自分を見つめ指導・助言を受けながら基本的な看護援助ができる	
	がん治療と看護（基礎） がん患者と家族の特徴理解 緩和医療概論 がん性疼痛看護（麻薬の取り扱い） 退院支援	基礎看護技術 ・ シミュレーション研修（医学に関する知識：OJT） ナーシングシステム（アソシエートナース・メンバーシップ） コミュニケーション ・ メンタルヘルス 医療安全 ・ リフレクション研修 看護倫理基礎 ・ 看護過程の展開基礎（NANDA 看護診断）
達成レベル	がん看護専門教育 ○がん治療と看護 ○がん患者と家族への看護 ○がんに伴う苦痛への介入 ○がん患者・家族の倫理調整 ○退院支援・退院調整	基礎的看護教育 ○看護実践能力 ○看護管理 ○教育・研究 ○人間関係 ○看護倫理 } 看護師として必要な基本的知識・技術